

現在、世界の各地で地震が起こり、地球温暖化による大雪、大雨、台風、ハリケーン、気温上昇、干ばつなど自然災害が連発しています。

私たちはこれらのニュースを見てどうしたらよいのでしょうか。科学や文明が発達しても、大自然の脅威の前に、無力な人間の姿を見て、恐れるばかりです。

今日の学びの要点

- ・ 聖書に書かれていることが、成就する時が必ずきます。

私たちは備える事が許されています。救われた私たちは主のみことばを信じて導かれるままに備えていくことが求められます。

I、神様は猶予される時を持たれる

1、神様が洪水により、全世界が滅ぼされることが伝えられたのは、ノアが 5 百歳の時です。洪水が起こった時ノアは何歳だったのでしょうか。（創世記 7:5～6）

2、洪水から守られるため、山の上での箱舟を造る期間、どのようなことが考えられるのでしょうか。

①人間以外の動物や他の生き物は、どのようにして箱舟に入れたのでしょうか。
（創世記 7:9～16）

②ノアが山で、大きな箱舟を造っている様子や、動物や他の生き物がぞくぞくと集まって来て箱舟に入って行く様子を、人間たちは見なかったのでしょうか。見ていた人たちがいたなら、どう思ったのでしょうか。（創世記 6:7）

③聖い動物は 1 つがいではなく、 7 つがいです。神様のこの後の計画は何でしょうか。（創世記 8:20）

Ⅱ、神様の時がある

- 1、ノアとその家族、すべての動物や他の生き物が箱舟に入りましたが雨が降り始めたのは、その後すぐだったのでしょうか。（創世記 7:4～10）
- 2、ノアの家族も動物や他の生き物が箱舟に入った後、箱舟の戸を閉めたのは、なぜ主なる神様だったのでしょうか。（創世記 7:16）
- 3、ノアはどのような思いで箱舟を造ったのでしょうか。（ヘブル 11:7）

Ⅲ、主イエスの警告

- 1、この話を知っておられた主イエスは、どのように言っておられるのでしょうか。（マタイ 24:37～39）
 - ①再臨の日が来る。その日がいつなのか、だれにも知らされない。（マタイ 24:36）
 - ②聞いて、信じて従い備える大切さ。（マタイ 24:33）
 - ③聞いても、そんなことは起きないと日常の事に捕らわれ備えない者が多い。（マタイ 24:39）
- 2、裁きの神でもある神様は、人が信じられないようなご計画が実行される時がある。
 - ①必ず事前に誰かに語られる（マタイ 24:35）
 - ②従う人を用いて、ご計画を進めて行かれる。（マタイ 24:47）